

金子さん 元気に101歳

入所先のうねとり荘で祝う会

村特別養護老人ホーム「うねとり」荘（大上重信施設長、入所者60人）に入所する金子ツヤさんの101歳を祝う会



長寿の証を受け取る金子ツヤさん

が1月7日に行われました。

親族や入所者約70人が見守る中、野崎幸太郎普及福祉会理事長から、長寿の証などが手渡され、皆さんから温かい拍手が贈られました。

ツヤさんは明治39年1月10日生まれで茂市出身。同荘生活相談員の中山学さんは「耳は少し遠いですが字は読めるし、ご飯も一人で食べます。まだまだ元気いっぱいですよ」と話していました。

村読コン 優秀賞に7人

入賞者23人に表彰状

村読書感想文等コンクールがこのほど行われ、小学校低学年・中学校・高学年の部、中学校の部の4部門で、それぞれの入賞者23人が決まりました。

それぞれ入賞者に手渡されました。同コンクールは今回で26回目です。各部門の入賞者は次のとおりです。

◇小学校低学年の部▽優秀賞 下道樹里（堀小1年） 銭袋あかね（普小2年）▽入選 嘉村魁人（黒小1年） 熊谷龍也（同） 松家芽（堀小2年） 太田倫太郎（普小2年）◇小学校中学年の部▽優秀賞 深渡柊（普小3年） 日野澤司（鳥小4年）▽入選 梶谷美

住民力で村は変わる

ミセス・高齢者合同講座



和やかな雰囲気で行われた合同講座

「私たちにもできるまちづくり」と題して地球村ミセス・生き生

き高齢者合同講座が12月27日、役場大会議室で開かれ、村教育委員会の熊坂伸子教育長が講演とワークショップを行いました。

講座には各婦人会員や老人クラブ会員ら約40人が参加。熊坂教育長は「お役所がすべてをやってくれる時代もありましたが、これからは協働の時代です。女性やお年寄りが活躍できる村をつくりましょう」と話

しました。講演後は6、7人のグループに分かれ、村に残したいもの、活用したいものなどを話し合いました。

皆さんからは「山海レストイラン」や「浜番屋の活用」「緑の村にパークゴルフ場を造る」「伝統芸能の保存」「遠野市のように村全体を観光スポットに」などさまざまな提案が出されました。熊坂教育長は「まちづくりは皆さんが自分に何ができるか考え、行動を自ら変えていくことが大切。住民の力で村は変わります」と訴えました。

祈（同3年） 佐々木勇人（普小3年） 角地恵美（黒小4年） 駒木李音（同） ◇小学校高学年の部▽優秀賞 正路裕也（黒小5年） 高屋敷昇（鳥小6年）▽入選 中山天（普小5年） 中山心（同） 赤坂千夏（堀小6年） 横田裕紀（鳥小6年）◇中学校の部▽優秀賞 前川亜由美（普代中3年）▽入選 太田綾華（同1年） 内野沢さつき（同2年） 澤口詩歩（同） 佐々木千鶴（同3年）

敬称略

澤田タマさん死去



澤田タマさん（沢向）が1月10日、入所先の特別養護老人ホーム「うねとり荘」

で死去されました。103歳でした。

澤田さんは、明治36（1903）年8月12日に沢向に生まれました。103歳の誕生日には、大勢の家族に祝福され、元気に過ごしていた矢先のことでした。謹んでごめい福をお祈りいたします。